海洋土木工学プログラム

1. 教 育 目 標

海洋土木工学プログラムは、海洋学と土木工学に関する専門教育を行って、海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学の知識と判断力および高い倫理観を有する技術者を育成することを目的とする。

海洋土木工学プログラムで取り扱う教育・研究の範囲は、通常の陸上および海岸の他に、着底型のような構造物の構築が可能な大陸棚以浅の海洋の領域での土木工学に関わる諸問題を対象としている。従って、従来の海洋学、土木工学の基礎教育を行うことにより、海に関して深い理解を有する人材の育成を目指すとともに、ソフト面およびシステム面に対する物の見方や考え方ができるエンジニアを育成するための教育を行う。

具体的には、最新の海洋開発技術を支える計画・設計・施工・管理に関する専門科目、その基礎となる工学基礎科目を学ぶことになる。それと同時に、周辺の自然環境の保全、地域の文化や景観との調和、自然災害の防止といった、社会が要請する問題を工学的視点から解決できるデザイン能力を養成する。現代社会の高度情報化、国際化といった動きを踏まえ、時代の要請に応えうる豊かな環境意識と高い倫理観を持った技術者を育成するために、以下に海洋土木工学プログラムの教育目標を掲げる。

教育目標

[A] 人類の幸福と福祉について考えることのできる能力の養成
[B] エネルギーと環境、人間と社会の持続的な調和を考えることのできる能力の養成
[C] 地域社会および国際社会においてコミュニケーションができる能力の養成
[D] 数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識を活用できる能力の養成
[E] 土木工学の基礎知識を工学的デザインに活かし、持続的な社会の発展に貢献できる能力の養成
[F] 海洋環境の開発と保全について総合的判断ができる能力の養成
[G] チームによる調査・討論・発表などを通じて、地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決できる能力の養成
[H] 卒業後も主体的に学習を継続できる能力の養成

2. 専門教育科目の位置付け

海洋土木工学プログラムでは、上に掲げた教育目標を実現するために、1）共通教育科目（外国語を含む）と 2）専門教育科目から構成される教育カリキュラムが作られている。共通教育科目については、共通教育履修案内および共通教育授業科目概要を参照することとし、以下に専門教育科目に関して述べる。

専門教育科目

専門教育科目は、「学部共通科目」ならびに「学科共通科目」と、海洋土木工学に関する「海洋土木工学プログラム科目」からなる。また、他プログラム、他学科および他学部の科目も履修できる（進級・卒業要件一覧表参照）。

(1) 学部共通科目

学部共通科目は、微分積分学Ⅰ、線形代数学Ⅰおよび物理学基礎Ⅰからなる工学基礎教育強化科目（必修６単位）、工学全般に関する基礎知識を得るための工学概論系科目（必修２単位）と、工学の様々な分野に関連する各項目を多視点から学ぶ分野融合科目（選択必修）からなる。分野融合科目は、下記の学科共通科目に含まれる分野融合科目と併せて４単位以上を修得する必要がある。